

2020年6月1日
シスメックス株式会社
株式会社オプティム

シスメックスとオプティム、医療用AI・IoT オープンプラットフォームおよび デジタルトランスフォーメーション・ソリューションの 企画・開発・運営会社を共同設立

シスメックス株式会社（本社：神戸市、代表取締役会長兼社長 CEO：家次 恒 以下「シスメックス」）と株式会社オプティム（東京本社：東京都港区、代表取締役社長：菅谷 俊二 以下「オプティム」）は、デジタル医療に関するオープンプラットフォームとアプリケーションを活用したソリューションサービスの企画、開発、運営を担う「ディピューラメディカルソリューションズ株式会社（以下、ディピューラメディカルソリューションズ）」を2020年6月1日に共同で設立し、活動を開始しました。

近年の革新的な医療のモダリティやAI・IoTに代表される技術革新により、患者さんの服薬モニタリングや個々の病態に応じた今後のケアなどの医療情報の提供がデジタル化されるとともに、薬事承認された治療用アプリケーションを用いたデジタル医療が提供されつつあります。このような医療に関する多様なデータ解析とその活用によるデジタルトランスフォーメーションは、患者さん一人ひとりに最適な医療を提供する個別化医療と密接に関わってきており、患者さんが健康な時点から、罹患後の検査・診断、治療、再発・重症化防止、そして終末期までのプロセス（Patient Journey）における総合的な情報を管理し、各プロセスにおける適切な支援を可能とする、新たな医療の可能性を有しています。

これまで、シスメックスとオプティムは、次世代の医療・診断を支えるデジタル医療の事業化加速を目的とした包括的な業務提携^{*}について2019年2月に合意し、共同で取り組んできました。さらに、2019年11月以降は合弁会社設立に向けた基本合意のもと両社で検討を重ね、このたび合弁会社であるディピューラメディカルソリューションズを設立しました。

本合弁会社の社名には、このようなデジタル技術や医療データを用い、個人と医療をつなぐ架け橋となるソリューションを提供することへの思いを込めており、これまで分断されていた医療情報をシームレスに繋ぐための医療用AI・IoTプラットフォームと、科学的根拠に基づいたデジタル医療ソリューションの開発およびその運営を事業として行います。事業のコアとなる「医療用AI・IoTプラットフォーム」はオープンプラットフォームであり、多様なベンダーやユーザー企業との連携を図るとともに、治療用アプリケーションの開発・搭載を可能としています。また、開発したアプリケーションに対する薬事承認などの許認可取得の支援サービスも提供していきます。

現在、医療用AI・IoTプラットフォームのプロトタイプ開発に着手しており、今後は製薬企業や医療機器メーカーとの協業について本格的に協議を進めていきます。

今後もシスメックスとオプティムは、両社のシナジーを最大限に発揮し、高度なAI・IoT技術を応用した医療ITソリューションやプラットフォームの開発・事業化を通じて、医療の発展と人々の健やかな暮らしの実現に貢献します。

【新会社の概要】

会社名： デイピューラメディカルソリューションズ株式会社
所在地： 神戸市中央区小野柄通 7 丁目 1-1
設立日： 2020 年 6 月 1 日
資本金： 5000 万円（資本準備金 5000 万円）
出資比率： シスメックス 51%、オプティム 49%
役員： 代表取締役社長 井上 淳也
（シスメックス株式会社 クリニカルイノベーション本部 部長）
代表取締役副社長 吉村 英樹
（株式会社オプティム ビジネス統括本部医療事業部 ディレクター）
事業内容： デジタル医療等の IT ソリューションおよびプラットフォーム、ならびにアプリケーションに関する開発・運用・保守、許認可取得に対する支援サービス

【参考】

2019 年 11 月 1 日リリース『次世代の医療・診断を支えるデジタル医療の事業化加速を目的に合弁会社設立に向け基本合意 ～デジタル医療に関するプラットフォームとアプリケーションの早期提供を目指す～』

<https://www.sysmex.co.jp/news/2019/191101.html>

【注釈】

※ シスメックスとオプティムの包括的な業務提携について：
先端医療分野において、シスメックスが持つ医療分野における豊富な知見やグローバルな販売・サービスネットワークと、オプティムが持つ AI・IoT プラットフォーム「OPTiM Cloud IoT OS」などの AI・IoT サービスや技術、実用化ノウハウを融合し、医療機器をネットワークに接続することで得た情報を AI が解析するオープンなプラットフォームを活用し、新たな医療 IT ソリューションの早期開発とグローバル展開を目的とした内容。

以上